

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和6 年度実施分

施設名	第2こどもクラブ、千ヶ瀬こどもクラブ、友田こどもクラブ、第4こどもクラブ、第7こどもクラブ、成木こどもクラブ		
指定管理者名	社会福祉法人 青梅市社会福祉協議会		
指定管理期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられない子どもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か ・協定や事業計画どおりの管理となっているか、など	事業報告書・月次報告書	S	新型コロナウイルス対策としての消毒、衛生管理を維持し、室内トイレなどを清潔に保つことができた。各クラス正規指導員を担任として配置することにより平常通りの人員配置をもって行うことができた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適切に実施した。	A	定められた期限に確実に報告されている。また期限前に提出することを常態としている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか、など	事業報告書・現地調査・危機管理マニュアル	A	市、学校と連携し利用者にとってより安全な場を提供することができた。小破修繕については、迅速に対応した。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか、など	事業報告書・月次報告書	A	青梅市社会福祉協議会の個人情報保護規定に基づき、整理保管等を適正に行つた。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書・月次報告書	A	適正な作成および保管に務めた。	A	業務の記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	A	青梅市社会福祉協議会の緊急時体制に基づき体制を整備している。	A	緊急時の連絡体制や危機管理体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	危機管理マニュアル・事業報告書	S	地震、火災の避難訓練に加え、不審者対応訓練や食物アレルギー児の緊急対応研修を実施し、緊急時の対応力向上に務めた。	A	適時訓練を実施し、緊急時の対応確認を行なっている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損・物品の紛失はあるか、など	事業報告書	A	適正な管理に務めた。	A	適切に管理している。
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか、など	事業報告書	S	地域団体による折り紙教室・マジック体験、ボンチャ教室等を実施し、児童の活動範囲を広めることができた。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書・月次報告書	A	適切な利用状況となっている。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されており、計画どおりの利用状況となっている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	利用者満足度報告	A	保護者、児童それぞれにアンケートを実施し、意見を収集した。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か、	利用者満足度報告	S	アンケートの結果、指導員は保護者の考え方を聞く姿勢を持っているか。の問い合わせに89%満足と高い評価を得ている	A	利用者アンケートを実施し、良い評価が得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	現地調査・ヒアリング	A	全指導員で内容を共有し、改善に向けた話し合いを実施している。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているかなど	事業報告書・ヒアリング	S	市及び学校、ターゲットとの連携を密にし、情報の共有、提供も行いながら行政目的の達成により貢献することができた。	A	担当課と密に連携し、適切に運営していた。また学校等の関係機関と情報共有を行い、連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案どおりに実施できたか	事業報告書・ヒアリング	S	地域団体との交流など、社会福祉協議会の運営する学童保育特有の事業を実施することができた。	A	提案どおりに実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適正に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	A	赤字になつてはいるが法人として適切に運営している。	B	赤字になつてはいるが、法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100)(当期経常増益額÷経常利益×100)がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。(-3.32%)	B	赤字になつてはいるが、法人として適切に運営されている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	S	法人として適切に運営している。(71.3%)	S	法人として適切に運営されている。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	S	法人として適切に運営している。(399.8%)	S	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	8
A	13
B	0
C	0

記入欄

- ・児童を対象とした地震、火災、不審者の侵入、災害などの避難訓練の実施に加え、指導員を対象とした学童保育中の子どものけが等の対応についての研修を実施し、より安全安心な学童保育の運営に務めた。
- ・行事等の実施については、地域の自治会の運営するボッチャ練習会、市内団体によるマジックショー、折り紙教室等の交流事業の実施を通して社会福祉協議会ならではの学童保育運営を進めることができた。
- ・毎年実施しているアンケート結果をふまえ、改善に向けて対応に務めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼づくりに務めた。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	3
A	16
B	2
C	0

記入欄

- ・協定や事業計画に沿って、事業の実施・管理運営を行なった。長年培ってきた経験があるため、問題なく安定した事業運営を行なった。
- ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行ない、また担当課とも連絡を密にとりながら学童保育所の運営を行なった。
- ・社会福祉協議会の強みを生かし、地域と交流しながら地域に根付いた学童運営を行なった。
- ・児童や保護者と円滑なコミュニケーションをとつており、そのことが利用者の高い満足度につながっている。
- ・定期的に実施している全事業者による定例会議において、長年培った経験を生かし、現場での課題を各事業者と共有することで、青梅市内の各学童クラブの質の向上につなげている。